

平成29年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策(都市農村共生・対流)

【農山漁村における農林水産物の販売・加工】3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32	H33		
中国四国	山口県	長門市	長門市水産物需要拡大総合推進協議会	●	●	□	/	/	/	A	子ども農山漁村交流事業、農林水産物の販売・加工等、計画通りの取組が実施されている。事業拡大による他事業とのコラボレーションも成功し、目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。
中国四国	岡山県	津山市	あば村運営協議会	●	●	□	/	/	/	A	各種イベント、視察対応、モニターツアーなどの取組等、計画通りの取組が実施されている。目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。
中国四国	愛媛県	大洲市	河辺の未来を考える会		●	○	□	/	/	A	高齢者健康プロジェクト、地域特産品を活用したメニュー及び商品開発、体験ツアー、日本型食生活の推進等、計画通りの取り組みが実施されている。目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。

【農山漁村への定住促進】3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32	H33		
中国四国	広島県	上島町	仙養ヶ原地域づくり協議会	●	●	□	/	/	/	A	定住促進のための農業体験スクールや定住ツアーの実施など、ほぼ計画通りの取組が実施されている。目標もほぼ達成していることから、一定の成果を上げていると認められる。
中国四国	島根県	安来市	宇賀荘ひがし地区定住促進協議会	●	○	□	/	/	/	B	勤労者・体験農業者の発掘及び教育、ひまわり祭りの開催、先進地への研修視察、現地PR活動の実施、ワークショップを通じた各種検討、地域景観配慮構想及び管理規定の検討等、計画通りの取組が実施されている。目標も売上げを除き達成していることから、一定の成果をお上げていると認められる。
中国四国	高知県	四万十町	四万十町就農・定住促進協議会	●	○	□	/	/	/	A	地域整備構想の検討、先進地視察、都市間交流、農業体験ツアー等、計画通りの取組ができている。目標も売上げを除き達成していることから、一定の成果を上げいると認められる。

【農山漁村の「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32	H33		
中国四国	島根県	雲南市	よしだ農都交流推進協議会	●	●	□		/	/	A	首都圏ニーズの調査、体験型教育・研修プログラムの開発、都市圏へのプロモーション活動及び定住促進等、計画通りの取組ができている。一部の目標が未達成だが、成果を上げていると認められる。今後は、雇用の拡大等、さらなる成果を期待したい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

●地域資源活用対策及び人材活用対策(地域活性化対策)

【(1)活動計画策定】 7件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32	H33		
中国四国	愛媛県	上島町	島のミライ協議会	●	●	○	○	□		A	農林水産物の販売・加工、体験プログラムの開発、モニター調査等、計画通りの取組が実施されている。目標もほぼ達成していることから、成果を上げていると認められる。今後は、事業実施体制を整え、さらなる成果を期待したい。
中国四国	高知県	日高村	日高村地域資源活用協議会	●	●	○	○	□		A	新規就農者の確保育成、トマト産地の再構築、霧山茶ブランドの強化、6次産業化の推進等、計画通りの取組が実施されている。目標も概ね達成していることから、成果を上げていると認められる。
中国四国	徳島県	三好市	三好六次協議会		●	○	□			B	活動計画の策定、手もみお茶生産、干し芋生産、雑穀生産による傾斜地農耕、食文化の伝承とブランド品づくり推進等、計画通りの取組が実施されている。目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。今後は、実施体制の整備や販路拡大の取組を改善し目標達成に努められたい。
中国四国	徳島県	小松島市	小松島市和田島地区地域協議会		●	○	○	○	□	A	活動計画の策定、各種イベント、水産物新規販売、特産品PR等、計画通りの取組が実施されている。目標もほぼ達成していることから、成果を上げていると認められる。
中国四国	徳島県	上勝町	かみかつ棚田未来づくり協議会		●	○	○	○	□	A	活動計画の策定、農産物の加工・販売、各種プロジェクトなどの取組等、計画通りの取組が実施されている。目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。

中国四国	高知県	香南市	香南市農業活性化地域協議会	● ○ ○ ○ □	A	活動計画の策定、農産物の加工・販売、担い手の確保及び労働力の確保等、計画通りの取組が実施されている。目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。
中国四国	高知県	室戸市	室戸市農村集落活性化協議会	● ○ ○ ○ □	B	活動計画は計画通り策定できたものの、庭先集荷及び買い物支援事業、直売事業等は実施期間が短期間となっている。目標は、売上を除き達成していることから、一定の成果を上げていると認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○‥交付対象年度(計画) ●‥交付対象年度(実施済) □‥目標年度(計画) ■‥目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A‥優良 B‥良好 C‥低調

●農福連携対策(農福連携普及啓発等推進対策事業を除く)

【福祉農園等整備・支援事業】 5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32	H33		
中国四国	島根県	江津市	江津コンクリート株式会社	/	●	○	□	/	/	A	冷凍庫の導入による新たな作業の創出、トイレ導入による受入環境の改善などにより、雇用の拡大が図られ、技術指導による農業経営改善と販路拡大など計画通りの取組が実施されている。目標も概ね達成していることから、一定の成果を上げていると認められる。
中国四国	岡山県	岡山市	特定非営利活動法人岡山自立支援センター	/	●	○	□	/	/	A	初殻炭の製造、農産物の生産、障害者の雇用などの取組等、計画通りの取組が実施されている。目標も概ね達成していることから、一定の成果を上げていると認められる。
中国四国	岡山県	美作市	特定非営利活動法人美作自立支援センター	/	●	○	□	/	/	A	アスパラガスの栽培施設の整備及び実施指導、研修など、ほぼ計画通りの取組が実施されている。目標も概ね達成していることから、一定の成果を上げていると認められる。
中国四国	広島県	福山市	特定非営利活動法人あいあい広場	/	●	○	□	/	/	A	ブルーベリー体験農園及びしいため栽培施設の整備は、計画通りの取組ができている。先進地域の視察や栽培指導については、予定回数の実施とならなかなかったが、目標の達成状況は優良であることから、成果を上げていると認められる。
中国四国	愛媛県	松山市	株式会社パーソナルアシスタント青空	/	●	○	□	/	/	A	講師を招いての勉強会・研修、先進地視察など、計画通りの取組ができる。目標も概ね達成していることから、一定の成果を上げていると認められる。

【農福連携支援事業】 1件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	H31	H32	H33		
中国四国	島根県	出雲市	出雲圏域農福連携推進事業協議会	/	●	○	□	/	/	A	農作業等支援センターの育成(現地実習、事例発表、情報委員会等)及び同センターの派遣、障害者の就農等に向けた能力開発など、計画通りの取組が実施されている。目標も達成していることから、成果を上げていると認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

【平成29年度農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策)の評価概要】

平成29年度事業の評価では、平成29年度に事業を実施した20団体を評価した。

農山漁村振興推進計画及び事業実施計画に基づき、事業実績・取組状況・実施体制について、取組が十分に実施され、成果が上がっていると認められる評価「A」が17団体で、取組がおおむね実施され、ある程度成果が上がっていると認められる評価「B」が3団体であった。

本交付金によって各地区の活性化及び自立と発展に向けて、一定の成果が出ていると認められる。

【平成30年度農山漁村振興交付金等評価委員会の議事概要】

現地調査及び第1回評価委員会

1. 日 時：平成30年8月1日（水）13時00分～17時00分
2. 場 所：中国四国農政局土地改良技術事務所1階会議室 （現地調査：岡山県真庭市）
3. 出席者：
　　出席者：
　　駄田井 久（委員長） 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授
　　香川 晋二 （株）農協観光 中四国統括事業部 統括事業部長
　　佃 俊子 高松市生活研究グループ連絡協議会 会長
　　＜評価委員会事務局＞（中国四国農政局担当者9名）

4. 議事概要

- 1) 事業実施評価の手順等について
　　・事務局から各対策の施策の位置づけ、施策目標（数値目標）の考え方と評価の観点等について説明した。
- 2) 平成30年度評価対象地区について
　　・事務局から平成29年度に事業を実施した団体について紹介した。
5. 評価委員会委員の主な意見
　　・事業実績（目標値の達成度合）の評価にウェイトが置かれていたが、何もないところから取組として動き出したことはもっと評価して良いと考える。
　　・評価委員の意見を事業実施主体にフィードバックすることも重要。
　　・目標年度以降の取組をフォローアップする仕組みがあつても良いのではないか。
6. その他（現地調査の実施）
　　・評価の参考とするため、平成29年度実施団体のうち北房農泊推進協議会（岡山県真庭市）を対象に取組状況を確認する現地調査を行い、意見交換を実施した。

第2回評価委員会

1. 日 時：平成30年8月6日（月）13時30分～15時30分
2. 場 所：中国四国農政局10階第10-B会議室
3. 出席者：
　　出席者：
　　駄田井 久（委員長） 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授
　　香川 晋二 （株）農協観光 中四国統括事業部 統括事業部長
　　佃 俊子 高松市生活研究グループ連絡協議会 会長
　　＜評価委員会事務局＞（中国四国農政局担当者8名）

4. 議事概要

- 1) 各対策の評価について
　　・各実施団体の評価案について意見聴取を行った。
- 2) 評価結果の公表について
　　・公表方法及びスケジュールの確認を行った。
5. 評価委員会委員の主な意見
　　・事業実施主体にどう評価されたかを伝えること、メッセージを伝えることが大事。
　　・事業1年目のC評価は悪い面ばかりではない。その後1年間にわたって農政局の重点指導を受けられることは事業実施主体にとってはよいことでもある。
　　・農泊推進対策は2年目が目標年となっているが、2年で実績を出しそれを評価するというのは少し厳しいのではないか。モニターツアーなどを実施して、その後どうなったかが重要。
　　・今回の7月豪雨の被災地の状況、観光のマイナス面を考えると、来年の評価において総合的評価Cがかなり出てくる可能性がある。被災状況を踏まえた目標値の修正が必要と考える。
　　・災害等やむを得ない理由により、総合的評価がCになる場合などは、結論を急ぐことなく、自立的・継続的取組につながるようもう少し長い期間での評価が必要と考える。